

<空の安全・安心を！整理解雇四要件を守れ！>

2018.2.24

## JAL闘争を支える京都の会News No. 58

京都市東山区今熊野南日吉町 17 FAX : 075-531-3856 E-mail : komai123@kfa.biglobe.ne.jp

# 稻盛和夫元会長は過去の発言に責任をもってください！

JAL 稲盛会長（当時）の記者会見での発言

（165名解雇直後の2011年2月）

「裁判になっているが、きっと将来そういう方々に何らかの形でお返しすることができるかもと思っている」

## JALは人手不足の今こそ、解雇した165名を職場に戻せ！

JALでは2010年末に165名の解雇が強行されて以降、究極の人手不足です。現場からは毎日悲鳴が聞こえています。希望を失い退職する人があとを絶ちません。ベテランのパイロットとCA（キャビンアテンダント）165名を職場に戻せば、人手不足問題は前進します。

### ★ パイロットもキャビンアテンダントも足りません。

経営は人手不足を乗り切るために昨年秋から一人あたりの労働時間を長くしました。その後、病人が増え続けています。

### ★ パイロットの職場では・・・

2010年の解雇強行以降、300名のパイロットが自主退職しています。

人手不足で勤務が過密になり、健康上の問題が出てきています。

### ★ キャビンアテンダントの職場では・・・

飛行機を降りて救急車で運ばれるCA、ロッカールームで倒れるCA・・・乗務中乗務前後に倒れるCAがあとを絶ちません。10月以降報告されているだけで5件です。

### ★ 安全運行にベテランは不可欠です。

稻盛和夫JAL名誉顧問は今こそ解雇した165名を職場に戻すべきです。

